

第23回情報科学技術フォーラム (FIT2024) CTO座談会 開催報告

齋藤彰宏

(デジタルプラクティス専門委員会 主査
/日本アイ・ビー・エム (株))

第23回情報科学技術フォーラム(会場:広島工業
大学 五日市キャンパス) 会期中の2024年9月6日に
CTO(Chief Technology Officer) 座談会を開催しました。

CTOとは企業における最高技術責任者のことで技
術面から経営をサポートし、企業の目指す方向性・ビ
ジョンを実現していく役職であり、企業の技術領域に
おいての最高責任者としての役割を担うため、経営層
として意思決定を行います。さまざまな技術革新が進
む現代において、企業の最高技術責任者であるCTO
の役割はますます重要になっています。CTOの皆さん
が日々の企業活動の中で、どのように考え、行動して
いるのかをお聞きしました(司会:齋藤彰宏(情報処理
学会 デジタルプラクティス専門委員会主査))。

今回の座談会にお集まりいただいたCTOは以下
の方々です。



森本典繁
日本アイ・ビー・エム (株) 取締役副社長執行
役員最高技術責任者 兼 研究開発担当 / (一社)
情報処理学会 会長

1987年日本アイ・ビー・エム入社後、メインフレ
ームやPC用のディスプレイの開発を担当。MIT
Media Lab 研究員を経て IBM 東京基礎研究
所に転入。2006年米国 IBM ワトソン研究所赴任、
2009年 IBM 東京基礎研究所所長就任。2023年副
社長就任。2024年より現職。本会会長、IT連
盟理事、経済産業省半導体・デジタル戦略
検討会議メンバ、等を歴任されています。



小川立夫
パナソニックホールディングス (株) 執行役員
グループ CTO

1989年松下電器産業に入社。本社研究所でデ
バイス・材料の開発に従事。米国ジョージア工
科大学に研究員として留学し、先端実装技術
開発を経験。2018年執行役員 生産革新担当、
2019年オートモーティブ社副社長 製造担当
・車載システムズ事業部長、2021年より
パナソニックグループのCTOに就任。技術・
生産技術・品質・環境・知財・薬事・CS職
能を担当されています。



津田 宏
富士通 (株) フェロー SVP 富士通研究所

1989年富士通研究所入社。新世代コンピ
ュータ技術開発機構にてAI研究に従事。Web
サーチエンジン、ブロックチェーン等の研
究開発を推進。2018年セキュリティ研究
所所長、2021年富士通 (株) フェロー兼
データ&セキュリティ研究所所長、
2023年より研究渉外担当フェローを
務められています。



花見英樹
(株) 日立製作所 インダストリアル・デ
ジタル・ビジネスユニット CTO

1994年日立製作所 大みか工場に入社。原子
力発電所の制御システム設計ならびに制
御セキュリティに従事。大みか事業所
の事業所長在任中に世界経済フォー
ラムより Lighthouse 工場に選出さ
れ Global Lighthouse Network メン
バとして活動。経済産業省「産業サイ
バーセキュリティ研究会」委員を務め
られています。



山田昭雄
日本電気 (株) Corporate SV

1993年 NEC 入社。符号化・認識など
メディア処理関連研究に従事。研究戦
略企画担当を経て、2013年より人工
知能関連の研究統括責任者。2020年
より研究開発担当役員、2024年より
AI事業担当役員を兼任。IEICE 理事、
ORSJ 副会長を歴任のほか、ITE 丹羽
高柳論文賞、経済産業省産業技術環
境局長表彰、IPSI 標準化功績賞など
を受賞されています。

CTOの皆様から自社の企業戦略を踏まえた技術経営
の方針についてのご紹介や、CTOの皆様
の技術、研究職からCTOに就任されるま
での職務経歴、また新たな価値を生み出
していく企業活動において、企業と学会
はどのように協力していけるのかなど、技
術領域だけではない多くのテーマについ
てディスカッションいただきました。

座談会終了後のアンケートでは次のよ
うな声が寄せられました。

- 企業で活躍するCTOの生の声を聞くことができ、とても刺激的な内容だった。
- 今後の企業の研究職採用の傾向として、どのような人物が求められるのかが分かった気がする。
- この数十年に情報技術の分野において起きた歴史的な技術進歩を企業CTOの経験に基づいた話として聞くことができ、貴重だった。
- 今後もぜひ、この企画を継続してほしい。

座談会の内容は本誌2025年2月号デジタルプラ
クティスコナーに座談会記事として掲載して
おりますので、ぜひお読みください。



[https://www.ipsj.or.jp/dp/contents/
publication/61/DP60B-IV.html](https://www.ipsj.or.jp/dp/contents/publication/61/DP60B-IV.html)

(2024年11月11日受付)